

世界を知る 自ら考える

朝日新聞の記事や図表で学ぶ月刊教材「今解き教室」は、時事をテーマに読解力や思考力を養うのに最適な教材として多くの方にご利用いただいています。「今解き教室」を授業で活用する塾と小学生を紹介します。

生物の危機 写真から興味を

「絶滅危惧種って知っていますか？」
兵庫県を中心に学習塾を展開するエディックの舞多間校で昨年10月に開かれた「今解き教室」の授業。林田大志校長は生徒たちにこう問いかけた。



「今解き教室」を使ったエディック舞多間校の授業＝神戸市垂水区

教室のホワイトボードには、ヤンバルクイナやアマミノクロウサギなど、朝日新聞の記者がとらえた絶滅危惧種の写真を次々と映し出す。いずれも「今解き教室」の報道写真のページに掲載されたものだ。目にする機会が少ない生き物の姿に生徒から歓声上がる。
林田校長はさらに「今解き教室」の図表を見せながら、生物多様性が失われていく原因を解説。最後に生徒たちは、「白くなるサングラスを取り上げた新聞記事を読み解く問題に取り組んだ。」

「最初に報道写真などで生徒の興味を引き出してから読解問題に入るの、同じ説明文でもイメージが広がって授業に入りやすい」と林田校長は話す。
このゼミは各学年の通常授業に年6回組み込まれている。時事を題材に「自分の考えを表現する力」を養うことが目的だ。将来の

最新号 届いたらすぐ

東京都目黒区の小学4年生、島本潤一さん(10)は、中学受験大手サピックスの紹介で小学3年生から「今解き教室」を始めた。家族で見ているNHKのニュー

高校・大学受験を見据え、小4～6年生の約2千人が参加する。この日の授業を参観した保護者からは「子どもが興味を持ちやすいし、思考力や表現力を磨くことにつながりそうです」との声が聞かれた。これは別にオンラインでも「今解き教室」を使ったセレクトジョン講座を毎週開催している。授業では各号のテーマにそった意見を600字で書く「今解き作文教室」にも取り組む。国語科教務責任者の田邊陽子さんは、授業を重ねるごとに子どもたちが長い文章もスムーズに読めるようになることと実感するという。課題作文も「自分で考えアウトプットすることで、書いて表現する力が間違いなくあがっています」。



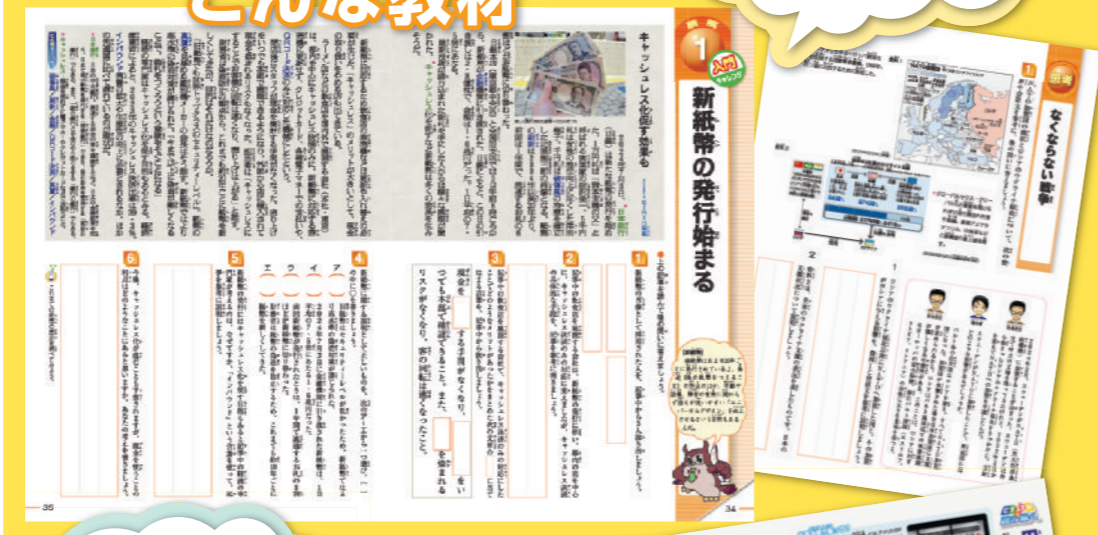
「今解き教室」で学ぶ島本潤一さん

朝日新聞で学ぶ総合教材

今解き教室

こんな教材

読解力がつく
新聞記事や図表を読み解く問題で、自分の意見を書く力を養います



1 新紙幣の発行が始まる

豊富な写真
朝日新聞の報道写真がふんだん。「目で見て」理解できます



解説も充実
カラフルでわかりやすい図解でテーマを深掘り



月刊教材記事・図表で深い学び 新年度予約受け付け中

朝日新聞社は2010年から「今解き教室」を発行しています。朝日新聞の記事や図表を読み解き、考える力を養う月刊の教材です。毎号、環境や政治、情報、福祉などから一つのテーマを採り上げ、深掘りします。現在、3月号から始まる25年度教材の予約を受け付け中です。

11、18日オンライン説明会

時事問題が多く出題される私立中学や公立中高一貫校、高校などでお求めいただけます。

教材の内容や活用方法などを紹介するオンライン説明会を11月18日(土)に開催します。時間は午前10時半から。今解き教室の公式サイト (http://manabu.asahi.com/imatoki/) もご活用ください。

ASA (朝日新聞販売所) やASA (朝日新聞販売所) などでお求めいただけます。

時事キーワード 250語 社会がわかる一冊

「今解き教室」から厳選した最新の時事用語250語を解説する「朝日新聞で学ぶ 受験に役立つ 時事キーワード 改訂版」を販売中です。



「グローバルサウス」「線状降水帯」「オーバーツーリズム」など、現代社会の理解に欠かせない重要用語を収録。朝日新聞に掲載された報道写真や図表も使い、時事問題への理解を助けます。中学、高校入試の時事問題対策におすすめです。B6判、160頁。価格1210円(税込み)。ASA (朝日新聞販売所) や全国の書店、「今解き教室e-shop」などでお求めいただけます。